

## ラタ シャ 米国出身の元キリスト教徒

:

明:彼女はイスラ ムを つけ、ムスリム女性の衣服に感激します。

目:[事新改宗者ムスリムの逸 女性](#)

より: ラタ シャ

ED4 May 2015

集日 04 May 2015

私は宗教的に しい家庭で育てられた米国人です。16 の には、私自身もとても敬虔で宗教的になっていました。教会は第2の家庭のようなものでした。そこでの活 をとても し んでいました。

私は定期的にバイブルを み、学んでいました。その 程においてバイブル内の多くの矛盾点に 付きました。その中には不一致な逸 が多く存在しています。それゆえ、祖母や教会の牧 などに したのですが、はっきりとした答えが ってきたことはありませんでした。

「つじつまの合わない については深く考えてもしょうがないから、そのことは忘れなさい」と言われたため、その はそうしました。

その 、20代になった私は地元の教会の青年牧 に就任しました。その から、バイブル研究を本格的に始めました。しかし べれば べるほど、疑 が いてきました。

私は教会 から答えを得られなかったことから、バイブル カレッジに入学しました。私はよく「ここなら答えが つかるはずだ」と思っていました。そして、そこでも期待は 切られました。

私の心を たしてくれるものは何もなかったため、私は「青年牧」を退きました。私は自分自身混乱しており、疑念に まされていたため、少年たちを率いる自信がもうありませんでした。私自身が指 者を必要としていたのです。私の心はこうした混乱からの助けを求めて叫んでいました。

ある夜、テレビを着けるとチャンネルはCNNになっており、イラクの 地レポ トが放送されていました。そしてその背景には、 たこともないような美しい女性が写っていました。彼女は全身 ずくめの装いだったのです。彼女の慎み深さが、彼女を美しくしていたのです。彼女がムスリムであることは分かっていたのですが、ムスリムの信条がどういったものなのかはまだ知りませんでした。

私はどちらかという、まず彼女の衣服に 心を持ちました。それは何よりも私の 味を引いたのです。私の心は、敬虔かつ 虚な彼女のようになりたいという 望を直ちに持ちました。これが、私による探求の始まりでした。

私はネットへ急ぎ、「ムスリム女性 衣服」と「ムスリム女性 ヴェル」で 索しました。このときに「ヒジャ ブ」や「ニカ ブ」という言 を知りました。ウィキペディアではそれらを着用する女性のことは「ヒジャ ビ」や「ニカ ビ」として言及されると されていました。

それらヒジャ ビ やニカ ビ たちは、私の新たな模 となりました。よって、私は即刻ネット上のニックネ ムをすべて「ヒジャ ビ」や「ニカ ビ」に 更しました。その はまだ、イスラ ムの信条について べようとは思っていませんでした。しかしそれはやがてやってきました。

ある昼下がりに、私の 人が地元のバ ベキュ 会を催していました。私が 人の横に座っていると、いつしか が宗教に及びました。

彼は言いました。「 らキリスト教徒は、神の御前に立つ は困ることになるはずだよね。」

私はただ同意して いていただけでしたが、彼の 言の意 はあまり分かりませんでした。

彼は言いました。「ムスリムたちは信仰深く1日に5回も祈っているというのに、 らキリスト教徒は1日に1回祈るか祈らないかくらいなものね。」

さらなる 心への刺激!

私は直ちに断りを入れ、急いで 宅しました。そしてコンピュ タを き、インタ ネットでムスリムの信条について 索し始めました。私はその信仰 条が自分の心情にマッチしていたことに きました。

ただ、私はその中に何か怪しげなものが されていないか警戒しました。改宗するからには、 々ぎよっとするようなものだったら嫌だからです。

その数 、私はおよそ80キロも れている最寄りのモスクへ で立ち寄り、情 を求めました。私は 夜更かししてネットでイスラ ムの情 を 索していました。

数ヶ月に渡る と の末、私は改宗することを 意しました。私は例のモスクへ行ってシャハダをしました。それまでに感じたこともないような平 が心と魂にもたらされました。スブハ ナッラ！

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/2758>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。